

産業廃棄物処理計画書

平成30年6月 日

福山市長 様

提出者

住所 広島県福山市鋼管町1番地

氏名 日本鑄造株式会社 素形材事業部 福山製造所

福山製造所長 新沼 透

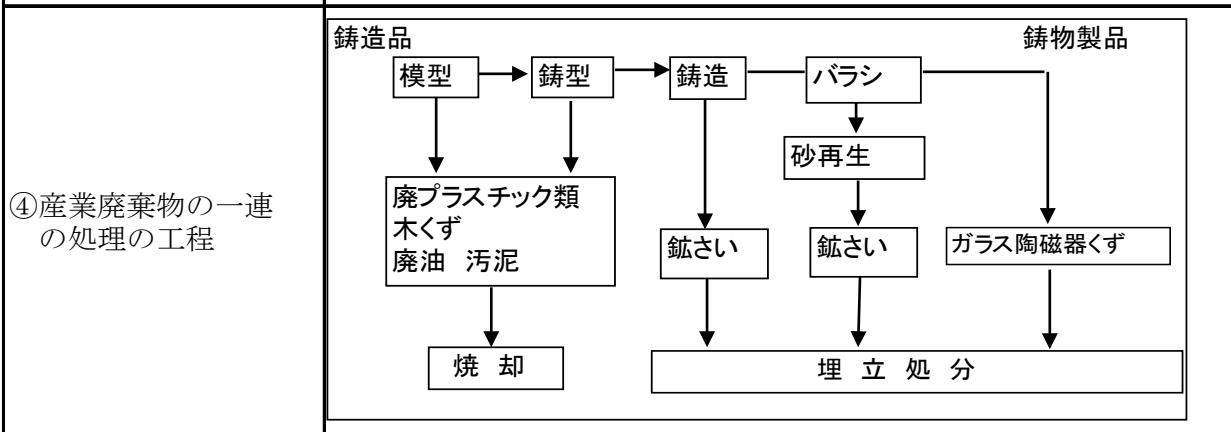
電話番号 084-941-2716

広島県生活環境の保全等に関する条例第85条第1項の規定により、平成30年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本鑄造株式会社 素形材事業部 福山製造所
事業場の所在地	広島県福山市鋼管町1番地
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **条例別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	銑鉄鑄物製造業
②事業の規模	資本金 2627百万円
③従業員数	88名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	<b>条例別紙 1, 2 のとおり</b>
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	<b>条例別紙 1, 2 のとおり</b>		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	排 出 量	809.84 t	t
	(これまでに実施した取組)		
砂回収 再生			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	排 出 量	800 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
砂回収 再生			

産業廃棄物の分別に関する事項	<b>条例別紙 1, 2 のとおり</b>
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油、廃プラスチック類、ガラスくず等、鉦さい、木くず、汚泥の分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉄分の回収

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

条例別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

条例別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **条例別紙 1, 2 のとおり**

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

**条例別紙 1, 2 のとおり**

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック・木くず・廃油・汚泥	ガラスくず等・鉾さい
	全処理委託量	22.69 t	813.44 t
	優良認定処理業者への処理委託量	22.69 t	813.44 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
埋立処分場の視察			

②計画	<b>【目標】 条例別紙1, 2のとおり</b>		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック・木くず・廃油・汚泥	ガラスくず等・鉋さい
	全処理委託量	82 t	802 t
	優良認定処理業者への処理委託量	82 t	802 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
処分場の視察			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

条例別紙1(条例-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成 29 年度)実績量  
 計画：今年度(平成 30 年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0.26	1	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	16.42	15	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず										
木くず	6.01	65	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	3.6	2	0	0	0	0	0	0	0	0
鋳さい	809.84	800	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類										
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
合計	836.13		0		0		0		0	

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
廃油	0.26	1	0.26	1	0	0	0	0	0	0
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	16.42	15	16.42	15	0	0	0	0	0	0
紙くず										
木くず	6.01	65	6.01	65	0	0	0	0	0	0
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	3.6	2	3.6	2	0	0	0	0	0	0
鉱さい	809.84	800	809.84	800	0	0	0	0	0	0
がれき類										
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
合計	836.13		836.13		0		0		0	



## 日本鑄造(株)福山製造所 環境管理組織図

<環境管理組織>

製造所長(環境管理責任者、公害防止統括者)

<環境管理に関する評価、審議機関>

工場長(環境管理者、公害防止統括者の代理者)

安全環境防災管理委員会幹事会  
 ※幹事会メンバー  
 ・製造所長  
 ・製造副所長  
 ・工場長  
 ・事務局  
 ・設備担当スタッフ(\*)  
 ・安全担当スタッフ  
 ・業務部

事務局  
 ・業務部  
 ・公害防止管理者  
 ・公害防止管理者の代理者

(\*) 特別産業廃棄物管理責任者(鈴木孝寿)

・工場付スタッフ  
 ・業務部  
 ・造型・検査班  
 ・溶解班  
 ・マイティバー鑄造班  
 ・保全班  
 ・安全班  
 ・鑄銑工場  
 ・亜鉛工場

安全環境防災管理委員会  
 ※委員会メンバー  
 ・製造所長  
 ・工場長  
 ・事務局  
 ・設備担当スタッフ(\*)  
 ・安全担当スタッフ  
 ・業務部  
 ・造型・検査班作業長  
 ・溶解班作業長  
 ・マイティバー鑄造班作業長  
 ・保全班作業長  
 ・工場付スタッフ  
 ・協力会社

## 参考様式

必ずしもこの様式に入力する必要はなく、自由な様式で作成することも可能です。

### 条例別紙2（条例-産業廃棄物処理計画書）

#### 1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	銑鉄鋳物製造業
②事業の規模	資本金 2627 百万円
③従業員数	88 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	焼却 埋立処分

#### 2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

#### 3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 砂回収 再生
②計画	(今後実施する予定の取組) 砂回収 再生

#### 4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油、廃プラスチック類、ガラスくず等、鋳さい、木くず、汚泥の分別
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉄分の回収

#### 5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 無し

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 無し

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 無し

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 処分場 視察
②計画	(今後実施する予定の取組) 処分場 視察

管理体制図の例

